

(2025年度) 地域連携推進会議 会議録

事業所名	「ゼノ」ホームなごみ		
サービス種別	共同生活援助（日中サービス利用型）		
開催日時	2025/10/08 14：00～14：30		
開催場所	「ゼノ」ホームなごみ 管理棟		
出席者	利用者		1名
	利用者保護者		1名
	地域関係者		2名
	※福祉に知見を有する方		
	※経営に知見を有する方		
	※行政関係者		
	事業所職員	久保田 史章 藤井 翔	2名
記録者			

(1) 利用者と地域との関係作り	・奥組地区の自治会に参入しており、地域の祭りなどに参加している。 ・サンパルホールのコンサートや地域の催し物への参加をしている。 ・自施設内だけでなく、外部サービスの利用を促進して、様々な方とのつながりを築いている。 今後の課題として ・管理棟や足浴場を地域の方にも利用開放しているが、創設以来利用はなく、周知方法を検討する。 ・地域の手芸教室などの社会資源の利用促進をして、地域の方と利用者さんとの関係づくりを検討する。
(2) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進	・地域の社会資源（公共施設など）を活用して、地域の方とのつながりを通して、利用者さんを知ってもらう取り組みをしている。 ・様々な就労先を活用して、老人保健施設等の方たちと関わり、就労による理解促進を図っている。 ・奥組地区の自治会行事に参加して、利用者さんと地域の方との交流を深めている。
(3) 施設等やサービスの透明性・質の確保	・利用者さんの思いを表現できるように意思決定支援を基に、個人の選択を尊重して余暇活動や就労先、生活の場等を提供している。 ・定期的な施設整備を実施して、過ごしやすい環境の保持に努めている。 ・利用者さんの身体状態に合わせて、特殊浴槽での入浴等を実施して、サービスの質の向上を図っている。

(4) 利用者の権利擁護	・言葉での意思疎通が困難な利用者さんに対し、仕草や表情から思いを汲み取り、支援に繋げる努力をしている。 ・写真や絵カードを用いて、利用者本人が選択できる機会を設けている。 ・一方的な支援にならないよう、本人の思いを探り、尊重することを心掛けている。 ・季節行事や体験の機会などの利用者さん一人一人の楽しみを通じて、思いを表現できる機会を提供している。 ・防犯上の施錠は実施しているが、外出希望があれば、開放している。
(5) その他	【利用者】 やかましい利用者がある。自分がトイレに行きたい時、その人と会わないよう別のトイレを利用している。 転倒による骨折をして歩けなくなってから、歩行器を使って歩く運動をしている。ホーム内だけでなく、外出先などでも歩行練習を実施して、身体を動かしている。 【地域の方】 ・他事業所の利用と一般就労先の内海町には、どのように通っているのか？ →他事業所の送迎を利用している。内海町で就労されている方は、道中に配慮がいる方であるため、ホーム職員の送迎によって出勤している。 ・玄関の施錠はしているのか？ →基本的には、21時以降は施錠をしている。防犯の観点で、内扉は自動施錠となっている。 【保護者】 ・過去に外出先で行方不明になる事案があったので、施錠が可能な環境で安心できる。 ・ホーム内に留まらず、昔通っていた作業所の方や育成会のつながり、公共施設の利用が出来ていて、楽しみを提供してもらい助かっている。